各　位

2026年11月10日

会 社 名　日本光電工業株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員
Chief Executive Officer　荻野　博一
（コード番号　6849　東証プライム）
問合せ先　上席執行役員
経営戦略統括部長　渡邉　英里
（TEL.　03 - 5996 - 8003）

業績予想の修正に関するお知らせ

当中間連結会計期間の実績および最近の業績動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表しました2027年３月期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

１．2027年３月期連結業績予想数値の修正（2026年４月１日 ～ 2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	232,500	23,500	23,500	15,000	93.77
今回修正予想（B）	228,500	17,000	16,000	10,500	65.61
増減額（B－A）	△ 4,000	△ 6,500	△ 7,500	△ 4,500	
増減率（%）	△ 1.7	△ 27.7	△ 31.9	△ 30.0	
（ご参考）前期実績（2026年３月期）	235,099	18,745	22,544	14,513	89.25

２．修正の理由

売上高につきましては、国内では、補正予算の投入や本年６月の診療報酬改定を受け病院経営は改善傾向にあるものの、上期において医療機器の設備投資に慎重な動きが継続したことから、下方修正しました。下期は、AEDの売上回復を見込むほか、医療の質向上と効率化に寄与する医療機器やITシステムの商談獲得に注力します。海外では、為替が想定よりも円安基調にあるほか、米国子会社再編に伴うアドテック㈱の決算期変更の影響（※１）を反映しました。上期は、欧州における大口商談の受注や為替の円安効果もあり、想定を上回りました。下期は、北米、インド、東南アジアを中心に医療機器の需要は底堅く推移する一方、AEDの代理店向け売上の減少や中東情勢の影響による商談の停滞を見込んでいます。北米では、人工呼吸器、脳神経機器が引き続き好調に推移する見込みです。生体情報モニタは、デジタルヘルスソリューション（DHS）製品と組み合わせた付加価値提案により競争力は高まっているものの、商談の大型化・長期化により、期初に想定していた伸びには届かない見込みです。

利益につきましては、売上高が期初予想を下回るとともに、売上総利益率の改善が部材価格の上昇や国内での消耗品の価格競争により想定に届かない見込みであることから、見直しました。引き続き自社品の販売に注力するとともに、全社収益改革を推進し、売上総利益率の改善、販管費の伸びの抑制に努め、下期の営業利益は増益を目指します。

第３四半期以降の為替レートは、157円／米ドル、178円／ユーロを想定しています。

※１　アドテック㈱の決算日を12月31日から３月31日に変更する予定です。当第３四半期連結会計期間において2026年７月１日から2026年12月31日までの６ヵ月決算を連結し、当第４四半期連結会計期間において2027年１月１日から2027年３月31日までの３ヵ月決算を連結する予定です。これにより、2027年３月期においては、2026年１月１日から2027年３月31日までの15ヵ月決算を連結する予定です。

※　上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって記載の予想数値と異なる場合があります。

以上